

# 社長からのメッセージ

— 2018年度上期 —

TOTOKU  
東京特殊電線株式会社  
丸子事業所

2018年12月7日

東京特殊電線株式会社

# 投資家の皆様へ

2018年度上期は、連結売上高 **95億円**（前年同期比+5.1%）、連結営業利益 **11億円**（同比▲20%）で、概ね予想どおりの結果となりました。

想定していた、得意先からの値引き要請や、高利益率品の売り上げの減少、原材料費・人件費の上昇、インドネシア子会社での火災の影響が出ています。また、フィリピン子会社の新工場の立ち上がり計画よりやや遅れましたが、8月から本格的な操業を開始しています。2018年度全体としては、公表した予想数値並みの決算になると考えています。



# 投資家の皆様へ

2018年度は、製品群によって好不調が分かれています。サスペンションワイヤはやや不振で、注力している新製品の高性能同軸ケーブル **RUOTA** は拡販の遅れが続いていますが、シート用ヒータ線やコンタクトプローブなどの売り上げは好調に推移しています。

6月の説明会で申し上げたとおり、今年度は“さらなる飛躍のための踊り場”と位置づけ、そのための戦略・施策を実行しています。

今後とも、「**永続的に成長する企業**」を目指す当社へのご支援をお願いいたします。



代表取締役社長 鈴木義博